

白山市緑の基本計画

【概要版】

豊かな自然と共生する庭園都市
～白山から日本海まで、緑・水・花のネットワーク～



「緑の基本計画」は

白山市緑の基本計画は、都市緑地法に基づき策定するもので、市の緑の特性や、市固有のまちづくり・景観形成施策などの独自性を踏まえ、本市の今後10年間の緑地の保全や緑化の推進に関する全般の基本方針を定めた総合的な計画です。

基本理念

豊かな自然と共生する庭園都市

～白山から日本海まで、緑・水・花のネットワーク～

白山市緑の基本計画では、豊かな自然や環境との共生を図るとともに、地域の歴史・文化等の多様性を生かしながら、市民参加により生活空間の充実を図るなど「豊かな自然と共生する庭園都市」を基本理念とし、計画の推進を図ります。

基本方針

生活に潤いと安心をもたらす緑の創出

霧峰白山から手取川扇状地を経て日本海に至る、多様で美しい自然景観をはじめ、地域の特色ある良好な景観を創出するとともに、四季折々の変化や山・川・海と共に生きる快適な生活環境が実感できる緑のまちづくりを進めます。

さらに、市民の憩いと潤いの場として、また市民の交流の場としての公園・緑地の整備を進めます。また、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことのできるような余暇空間の充実に努め、みんなが親しめる緑のまちづくりを進めます。

豊かな自然と共生した緑の保全

豊かで多様な自然環境を有する白山市の特性を踏まえ、市の木であるブナ林の保全やスギ林の維持管理などによる生物多様性の保全、県内有数の水源かん養林の保全など、環境に優しい緑化を進め、人と自然とが共生する緑の保全を進めます。

さらに、災害時における避難地・避難路の確保の観点から、市内の公園緑地における防災機能の強化を図ります。また、延焼防止や防風、土砂災害など防災における緑の役割は重要であり、緑化による安全・安心のまちづくりを進めます。

市民参加による緑と花のまちづくり 緑を通じた交流・人づくり

地域の緑化をはじめ、公園や道路・河川などの緑化を市民参加により推進します。

また、市民への緑の効用の理解と緑化意識の高揚を図るために、緑化イベントなどを通じた交流・連携による緑化の普及・啓発を図ります。また、緑を通じた人材育成を進めます。

緑のまちづくり施策

緑の創出

都市公園の整備・充実

身近な公園緑地の適正配置

既存公園のリニューアル

公園のユニバーサルデザイン



健康・スポーツ、レクリエーションニーズに対応した公園の整備・充実

健康・運動に対応した公園整備

様々なスポーツのニーズに応じた公園・緑地整備

レクリエーション施設の整備及び利活用



緑の保全

白山国立公園等の自然保護

白山国立公園及び県立自然公園の自然保護

希少動植物・保存樹等の保全



白山ろくを中心とした森林・里山林の保全

里山林の保全

人工林の維持管理

水と緑のネットワーク形成

生態系に配慮した緑の保全



日本海沿いの海岸部の自然環境の保全

防風林の保全等



土地利用の適正化による緑地の保全

土地利用の適正化



～緑の育成～



緑地の配置・整備（将来目標）

公共施設緑化の推進

公共施設緑化の推進



優れた景観の創出

景観エリア
(白山景観エリア、田園景観エリアなど)

景観軸
(山並み景観軸、河川景観軸、道路景観軸など)

景観核
(自然景観核、歴史景観核、まちなみ景観核など)

眺望点
(白山眺望景観点など)

環境負荷の低減

水源かん養林の保全



地下水かん養の推進

地球温暖化対策に向けた緑化

大気汚染・騒音等の対策強化

災害時における公園の防災機能の強化

避難地の確保

道路緑化の推進による避難路の安全性確保



公園の防災機能の強化

防災のための緑の確保

保安林の保全



河川・農地による水害対策強化

緑の育成

市民参加による緑化活動の推進

緑の人材育成

民有地緑化の推進

市民参加による公園・道路緑化の推進

緑の普及啓発



緑と花のイベントの推進

顕彰制度の充実

新たな公園の配置

近隣公園
(2ha程度) 7箇所

街区公園
(0.25ha程度) 13箇所

市民公園 14箇所

近隣に居住する住民の屋外レクリエーション活動や、休憩スペースを有する公園を整備

子どもや高齢者のいこいの場となる小規模な公園を、新たな市街地や公園整備率が低い地域を中心に整備

松任地区、出城地区、旭地区等で新たに住宅開発等を行う区域に設置

史跡公園の整備・充実

とうだいじりょうよこえのしういせき
東大寺領横江莊遺跡、舟岡山公園、
ふとげじょうせき
鳥越城跡・二曲城跡

公園の機能の維持・充実及び利用促進

松任城址公園、若宮公園、松任総合運動公園、
松任海浜公園、千代野中央公園、松任グリーンパーク
手取公園、小舞子公園、アプリコットパーク、
十八河原公園、白山郷公園、鶴来文化会館クレイン
白山ろくテーマパークなど

緑の目標

目標年次は、概ね10年後の平成32年とします。

都市公園等の緑地の整備目標

	現状値 (平成21年度末)	目標値 (平成32年)
市民1人当たり 都市公園等面積	26.9m ²	約30m ²

市街化区域での緑地の割合の整備目標

	現状値 (平成21年度末)	目標値 (平成32年)
市街化区域面積に 対する緑地の割合	5.3%	6.3%

現状値及び目標値は、平成24年5月に確定予定の市街化区域見込面積に対する割合

市民公園の管理協定数

	現状値 (平成21年度末)	目標値 (平成32年)
市民公園の管理協定数	159件 (71.3%)	236件 (100.0%)

(参考) 市民公園の内、管理協定が可能な公園数: 平成21年度末
平成32年

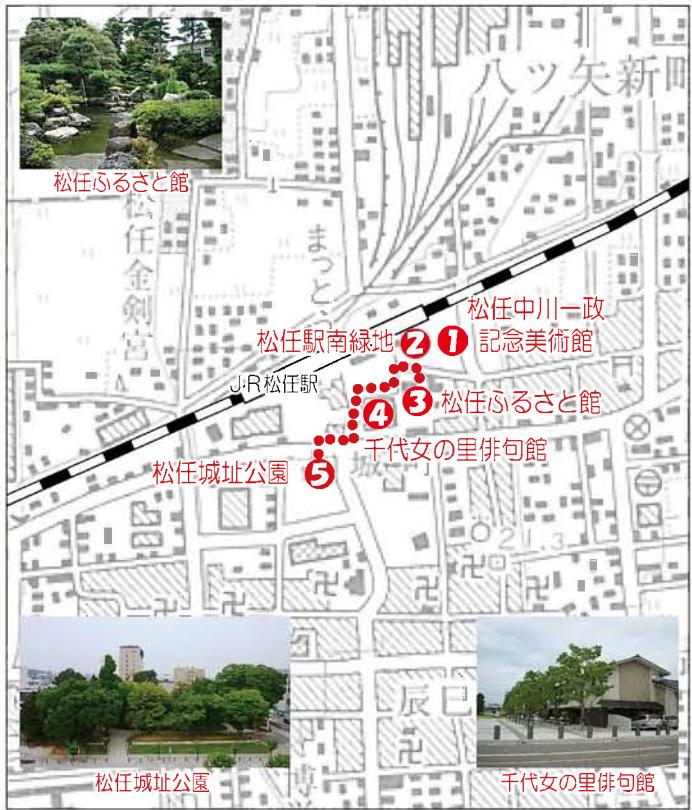
223箇所
計236箇所

白山から日本海まで、緑・水・花のネットワーク（散策コース）

①市街地の緑

徒歩：7分

1. 松任中川一政記念美術館 → 2. 松任駅南緑地 →
3. 松任ふるさと館 → 4. 千代女の里俳句館 → 5. 松任城址公園



③水辺の緑

徒歩：35分

1. 手取公園 → 2. 安産川親水公園 →
3. 石川ルーツ交流館 → 4. 呉竹文庫付近



②海辺の緑

自転車：35分

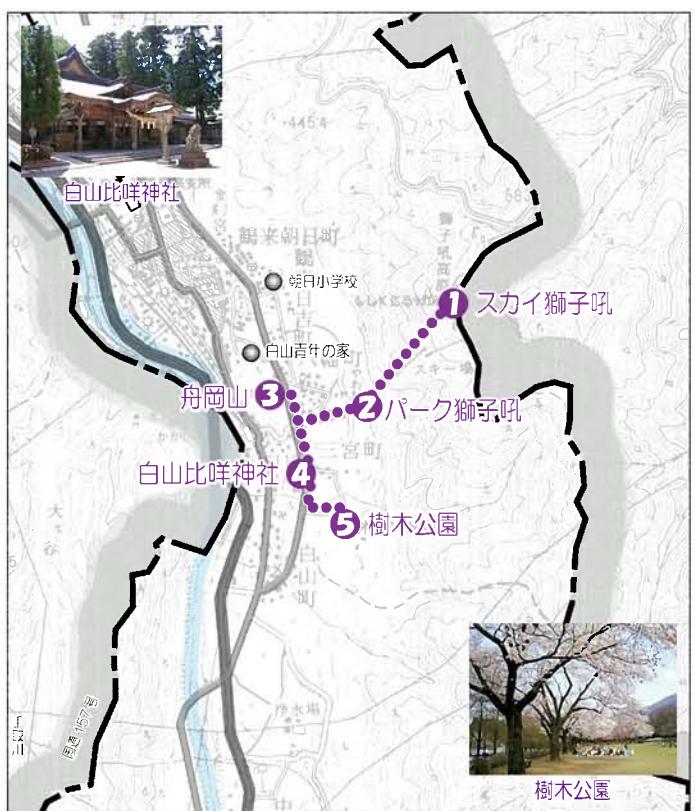
1. オニユリ群生地（八田町保安林内）→
2. 竹松海岸ハマナス群生地 → 3. 松任海浜公園 → 4. 手取公園



④山あいの緑

徒歩：20分

1. スカイ獅子吼 → 2. パーク獅子吼 → 3. 舟岡山 →
4. 白山比咩神社 → 5. 樹木公園



⑤手取峡谷の緑

徒歩 : 40分

1. 白山ろくテーマパーク・吉岡園地 → 2. バードハミング鳥越 →
3. 大巻どんど橋 → 4. 白山吉野オートキャンプ場 →
5. 手取峡谷（黄門橋）→ 6. 吉野工芸の里 → 7. 御仮供スギ



⑥白山ろくの緑 (巨木めぐり) 車: 170分

1. 白山比咩神社の老スギ（鶴来）→ 2. 御仮供スギ（吉野谷）→
3. 五十谷の大スギ（鳥越）→ 4. 瀬戸の夜泣きイチョウ（尾口）→
5. 太田の大トチノキ（白峰）



⑦白山自然の緑 (トレッキング) 徒歩 : 40分

1. 白山自然保護センター中宮展示館 →
2. オニグルミ林 → 3. 休憩園地 → 4. 野猿広場



⑧手取川の緑

自転車 : 60分

1. 十八河原公園 → 2. 白山ろくテーマパーク・吉岡園地 →
3. バードハミング鳥越 → 4. 白山吉野オートキャンプ場 →
5. 手取峡谷 → 6. 織ヶ滝・キャンプ場 → 7. そば畠 →
8. 白山下サイクリングパーク



各コースの場所

①市街地の緑

②海辺の緑

③水辺の緑

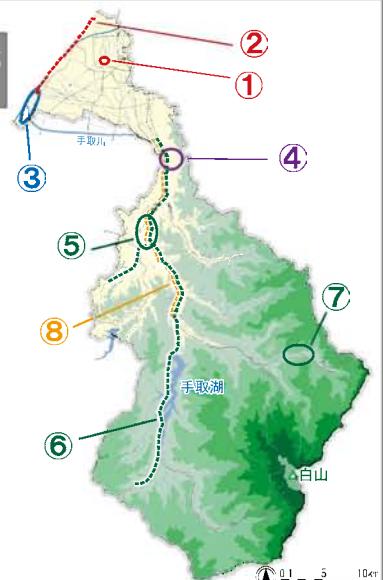
④山あいの緑

⑤手取峡谷の緑

⑥白山ろくの緑
(巨木めぐり)

⑦白山自然の緑
(トレッキング)

⑧手取川の緑



緑の役割

環境保全

- 地球温暖化防止
- 大気浄化、騒音防止
- 源頭かん養、地下水かん養
- 生物多様性の保全



景観

- 美しい景観の形成
- 季節感の実感
- 心の安らぎ、生きがいの創出
- 豊かな地域づくり
文化、個性の創出



防災

- 避難地、避難路
- 復旧・復興拠点
- 地震・火災、水害等の防止、緩和



健康・レクリエーション

- 健康増進、スポーツ
- レクリエーション・観光
- 休養・散策
- 自然とのふれあい
- 交流・コミュニティ



白山市民憲章

わたくしたち白山市民は、靈峰白山のもと清らかな手取川の恵みを受け、歴史と文化を育んできました。この白山市に誇りと責任をもち、未来に向かって、夢あふれる住みよいまちをつくります。

- いのち とうと
- ・生命を尊び、健やかな心と体を育みます。
 - ・自然を愛し、共に生きる美しいまちをつくります。
 - ・歴史と伝統に学び、未来につながる文化を育てます。
 - ・豊かな感性と、思いやりの心を大切にします。
 - ・働くこと学ぶことを喜び、活力あるまちをつくります。

平成 20 年 11 月 3 日制定

白山市の花、木及び鳥

市の花「あさがお」



市の木「ぶな」



市の鳥「うぐいす」



提供：関幸良さん

平成 19 年 11 月 3 日制定